



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月4日

上場会社名 株式会社神戸製鋼所

上場取引所 東名

コード番号 5406 URL <http://www.kobelco.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川崎 博也

問合せ先責任者 (役職名) 秘書広報部長 (氏名) 安田 幸展

TEL 03-5739-6010

四半期報告書提出予定日 平成26年2月4日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-----------|-------|--------|-------|---------|---|---------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 26年3月期第3四半期 | 1,325,277 | 6.2 | 85,548 | — | 67,370 | — | 63,816 | — |
| 25年3月期第3四半期 | 1,247,716 | △11.5 | 6,449 | △90.7 | △16,241 | — | △22,693 | — |

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 89,095百万円 (—%) 25年3月期第3四半期 △17,810百万円 (—%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 26年3月期第3四半期 | 21.26 | — |
| 25年3月期第3四半期 | △7.56 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|-----------|---------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 26年3月期第3四半期 | 2,231,378 | 655,783 | 26.5 |
| 25年3月期 | 2,226,996 | 569,922 | 23.0 |

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 592,425百万円 25年3月期 512,051百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 25年3月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 26年3月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 26年3月期(予想) | — | — | — | 4.00 | 4.00 |

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日公表の「平成26年3月期 配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|-----------|-----|---------|-------|--------|---|--------|---|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 1,830,000 | 8.6 | 105,000 | 834.6 | 70,000 | — | 65,000 | — | 21.65 |

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 有
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|----------|-----------------|----------|-----------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 26年3月期3Q | 3,115,061,100 株 | 25年3月期 | 3,115,061,100 株 |
| ② 期末自己株式数 | 26年3月期3Q | 113,865,497 株 | 25年3月期 | 114,187,811 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 26年3月期3Q | 3,001,273,383 株 | 25年3月期3Q | 3,000,921,663 株 |

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、【添付資料】P. 3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (2) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

【添付資料】

添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 連結業績予想に関する定性的情報 | 3 |
| 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 | 3 |
| 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の我が国経済は、金融政策や財政政策などの政府の経済対策を背景に、昨年までの円高が是正されたことにより輸出産業が持ち直しに向かい、震災からの復興に伴う需要を含め公共投資が増加するなど、回復基調が継続しました。また、海外においては、米国では緩やかながら景気回復基調が継続しましたが、欧州の景気は引き続き低調に推移し、中国でも、経済成長を維持しているものの、景気の減速基調が継続しました。

このような経済環境のもと、当社グループにおいては、鋼材の販売数量は、円高の是正の影響などにより輸出環境に改善がみられる中、着実に海外需要を取り込んだことなどにより、前年同期を上回りました。アルミ圧延品の販売数量は、自動車向けの需要が堅調に推移したことなどから、前年同期並となりました。銅圧延品の販売数量は、自動車用端子及び半導体向けの需要が回復基調にあることなどから、前年同期を上回りました。油圧ショベルの販売台数は、中国及び東南アジアにおいては需要が低調に推移したものの、国内需要は震災からの復興需要に加え、排ガス規制に向けた駆け込み需要などにより増加したことや、北米における拡販が順調に進捗していることなどから、前年同期を上回りました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期に比べ775億円増収の1兆3,252億円となりました。また、総コストの削減が進展したことや、固定資産の減価償却方法を変更した影響及び在庫評価影響の好転もあり、営業利益は、前年同期に比べ790億円増益の855億円、経常損益は、前年同期に比べ836億円増益の673億円の利益となりました。また、当社保有のナブテスコ(株)の株式を売却したことによる投資有価証券売却益などを特別利益として計上した一方、神戸製鉄所の上工程設備を加古川製鉄所に集約する鋼材事業の構造改革を決定したことに伴い、神戸製鉄所の休止予定設備の減損損失などを特別損失として計上しました。この結果、四半期純損益は、前年同期に比べ865億円増益の638億円の利益となりました。

当第3四半期連結累計期間のセグメント毎の状況は以下のとおりであります。

鉄鋼事業部門

鋼材については、自動車向けの需要が国内及び米国を中心とした海外においても堅調に推移したことや、円高の是正の影響などにより輸出環境に改善がみられる中、着実に海外需要を取り込んだことにより、販売数量は、前年同期を上回りました。また、販売価格は、為替の影響もあり主原料価格が上昇した影響などから、前年同期を上回りました。

鍛造鋼品の売上高は、造船向けの需要が低調に推移したことや、販売価格が下落した影響などにより、前年同期を下回りました。一方、チタン製品の売上高は、前年同期を上回りました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同期比5.1%増の5,913億円となり、経常損益は、総コストの削減が進展したことや、固定資産の減価償却方法の変更影響及び在庫評価影響の好転もあり、前年同期に比べ656億円増益の285億円の利益となりました。

溶接事業部門

溶接材料の販売数量は、国内における自動車、建築向けの需要は回復基調にありましたが、造船向けの需要が減少したことや、中国における景気減速が継続した影響などにより、前年同期を下回りました。また、溶接システムの売上高についても、中国を中心に建機向けの需要が低迷したことなどから、前年同期を下回りました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、円高の是正の影響もあり、前年同期比4.1%増の641億円となり、経常利益は、総コストの削減が進展したことなどから、前年同期に比べ38億円増益の48億円となりました。

アルミ・銅事業部門

アルミ圧延品の販売数量は、自動車向けの需要が堅調に推移したことなどから、前年同期並となりました。アルミ鍛造品の売上高についても、自動車向けの需要が米国を中心に堅調に推移したことなどから、前年同期を上回りました。

銅圧延品の販売数量は、銅板条において自動車用端子及び半導体向けの需要が回復基調にあることや、銅管において国内及び海外向けのエアコン需要が堅調に推移したことなどから、前年同期を上回りました。

以上の状況に加え、販売価格に転嫁される地金価格が上昇したことから、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同期比10.7%増の2,202億円となり、経常利益は、在庫評価影響の好転もあり、前年同期に比べ84億円増益の116億円となりました。

機械事業部門

海外を中心に石油精製・石油化学業界向けの圧縮機の需要が堅調に推移したことなどから、当第3四半期連結累計期間の受注高は、前年同期比27.1%増の1,067億円となり、当第3四半期連結累計期間末の受注残高は、1,378億円となりました。

一方、当第3四半期連結累計期間の売上高は、樹脂機械などの大型案件の売上計上が集中した前年同期と比べると11.2%減の1,018億円となり、経常利益は、前年同期に比べ35億円減益の44億円となりました。

エンジニアリング事業部門

当第3四半期連結累計期間の受注高は、北米及びロシア向け大型還元鉄プラントを受注したことなどから、前年同期比103.0%増の457億円となり、当第3四半期連結累計期間末の受注残高は、867億円となりました。

また、当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比2.7%増の278億円となりましたが、経常損失は、一部案件の採算悪化などにより、前年同期に比べ6億円悪化し、17億円となりました。

神鋼環境ソリューション

当第3四半期連結累計期間の受注高は、廃棄物処理関連事業の大型案件を受注した前年同期と比べると、13.5%減の509億円となり、当第3四半期連結累計期間末の受注残高は、485億円となりました。

また、当第3四半期連結累計期間の売上高は、水処理関連事業における大型案件の売上計上があった前年同期に比べ、2.5%減の459億円となりましたが、経常利益は、水処理関連事業における不採算案件の減少並びに廃棄物処理関連事業における既受注大型案件の建設工事が順調に進捗したことに加え、コストダウン効果などもあり、前年同期に比べ7億円増益の14億円となりました。

コベルコ建機

油圧ショベルの販売台数は、中国及び東南アジアにおいては需要が低調に推移したものの、国内需要は震災からの復興需要に加え、排ガス規制に向けた駆け込み需要などにより増加したことや、北米における拡販が順調に進捗していることなどから、前年同期を上回りました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比13.6%増の2,358億円となり、経常利益は、前年同期に比べ46億円増益の120億円となりました。

コベルコクレーン

クローラクレーンの販売台数は、国内においては金融政策や財政政策などの政府の経済対策や、震災からの復興需要などを背景に増加したことに加え、海外においても、欧州向けなどは減少したものの、東南アジア向けが増加したことなどから、前年同期を上回りました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比21.8%増の398億円となり、経常損益は、円高の是正により輸出採算が改善したこともあり、前年同期に比べ38億円増益の25億円の利益となりました。

その他

神鋼不動産(株)においては、分譲事業において引渡戸数が増加するとともに、賃貸事業も堅調に推移しました。(株)コベルコ科研においては、ターゲット事業において、需要が低迷しました。

以上の状況から、その他の事業全体の当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比9.9%増の488億円となり、経常利益は、前年同期に比べ3億円増益の41億円となりました。

(2) 連結業績予想に関する定性的情報

前回業績予想(平成25年10月29日)と比較すると、鉄鋼事業部門や溶接事業部門において、販売価格・数量が想定を上回ると見込まれることなどから、通期の営業利益の予想を上方修正しておりますが、関係会社の業績の低下により持分法投資損益の悪化が想定されることなどから、経常利益は前回予想を据え置いております。

(当期の配当について)

当社は、配当につきましては、継続的かつ安定的に実施していくことを基本としつつ、財政状態、業績の動向、先行きの資金需要等を総合的に考慮して決定することとしております。これに基づき、当期の期末配当につきましては、1株につき4円とする方針を決議いたしました。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

有形固定資産の減価償却方法については、従来、主として建物及び構築物は定額法、その他は定率法を採用していましたが、第1四半期連結会計期間よりその他の資産についても定額法に変更しております。

当社グループにおいては、近年の経営環境の変化に伴い、鋼材事業をはじめとして、従来の生産能力増強投資が減少する一方、競争力強化投資が増加しております。また、平成25年度を初年度とする中期経営計画において、製造設備は長期安定的な稼働を想定しており、保全工事などの設備維持コストも平準化し、市場環境や技術の変化による陳腐化リスクも少ないと見込んでおります。このような状況を踏まえ、より適正な費用と収益の対応を図り、経営実態を的確に反映するため、定額法に変更するものであります。

この変更に伴い、従来の方法に比べて、減価償却費が17,073百万円減少し、営業利益は16,950百万円、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は16,952百万円、それぞれ増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成25年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 114,103 | 103,253 |
| 受取手形及び売掛金 | 318,445 | 325,821 |
| 商品及び製品 | 161,431 | 158,558 |
| 仕掛品 | 109,902 | 126,072 |
| 原材料及び貯蔵品 | 129,184 | 140,262 |
| その他 | 161,126 | 160,937 |
| 貸倒引当金 | △2,276 | △3,416 |
| 流動資産合計 | 991,916 | 1,011,488 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 290,571 | 280,533 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 373,504 | 363,507 |
| 土地 | 201,292 | 200,090 |
| その他（純額） | 42,466 | 49,215 |
| 有形固定資産合計 | 907,835 | 893,347 |
| 無形固定資産 | | |
| 投資その他の資産 | 20,184 | 19,756 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 195,292 | 200,249 |
| その他 | 114,669 | 109,398 |
| 貸倒引当金 | △2,901 | △2,861 |
| 投資その他の資産合計 | 307,060 | 306,785 |
| 固定資産合計 | 1,235,080 | 1,219,889 |
| 資産合計 | 2,226,996 | 2,231,378 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 376,713 | 406,140 |
| 短期借入金 | 377,087 | 310,378 |
| 1年内償還予定の社債 | 20,000 | 26,000 |
| 未払法人税等 | 4,704 | 6,344 |
| 引当金 | 31,803 | 23,969 |
| その他 | 152,572 | 151,689 |
| 流動負債合計 | 962,881 | 924,521 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 177,000 | 151,000 |
| 長期借入金 | 385,039 | 367,027 |
| 退職給付引当金 | 51,557 | 59,702 |
| その他の引当金 | 1,808 | 1,727 |
| その他 | 78,786 | 71,616 |
| 固定負債合計 | 694,192 | 651,073 |
| 負債合計 | 1,657,073 | 1,575,595 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成25年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 233,313 | 233,313 |
| 資本剰余金 | 83,125 | 83,125 |
| 利益剰余金 | 253,199 | 316,359 |
| 自己株式 | △51,615 | △51,413 |
| 株主資本合計 | 518,022 | 581,384 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 21,147 | 23,962 |
| 繰延ヘッジ損益 | △1,685 | △2,552 |
| 土地再評価差額金 | △3,346 | △3,362 |
| 為替換算調整勘定 | △22,086 | △7,006 |
| その他の包括利益累計額合計 | △5,971 | 11,040 |
| 少数株主持分 | 57,871 | 63,357 |
| 純資産合計 | 569,922 | 655,783 |
| 負債純資産合計 | 2,226,996 | 2,231,378 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日) |
|-------------------------------------|--|--|
| 売上高 | 1,247,716 | 1,325,277 |
| 売上原価 | 1,118,902 | 1,113,474 |
| 売上総利益 | 128,814 | 211,803 |
| 販売費及び一般管理費 | 122,365 | 126,254 |
| 営業利益 | 6,449 | 85,548 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 3,215 | 2,704 |
| 受取配当金 | 2,196 | 2,132 |
| 業務分担金 | 4,381 | 3,941 |
| 持分法による投資利益 | 2,149 | — |
| その他 | 7,205 | 10,684 |
| 営業外収益合計 | 19,148 | 19,462 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 15,276 | 14,256 |
| 出向者等労務費 | 10,520 | 8,885 |
| 持分法による投資損失 | — | 1,007 |
| その他 | 16,043 | 13,490 |
| 営業外費用合計 | 41,839 | 37,640 |
| 経常利益又は経常損失(△) | △16,241 | 67,370 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | — | 24,897 |
| 負ののれん発生益 | 1,922 | 3,838 |
| 営業権譲渡益 | — | 3,173 |
| 特別利益合計 | 1,922 | 31,909 |
| 特別損失 | | |
| 減損損失 | 1,000 | 18,454 |
| 投資有価証券評価損 | 3,672 | — |
| 特別損失合計 | 4,673 | 18,454 |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | △18,992 | 80,825 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 6,873 | 10,516 |
| 法人税等調整額 | △6,013 | 3,591 |
| 法人税等合計 | 859 | 14,107 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△) | △19,852 | 66,718 |
| 少数株主利益 | 2,841 | 2,901 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | △22,693 | 63,816 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日) |
|---|--|--|
| 少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△) | △19,852 | 66,718 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 981 | 2,110 |
| 繰延ヘッジ損益 | 108 | △746 |
| 為替換算調整勘定 | 1,428 | 19,344 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | △476 | 1,668 |
| その他の包括利益合計 | 2,041 | 22,377 |
| 四半期包括利益 | △17,810 | 89,095 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △21,182 | 80,843 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 3,372 | 8,251 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。